

Tr3 耳元囁き手コキ(5415文字)

前トラックと同様、今回も淡々とした感じで進んでいきます。

セックスとは違って会話が重視となるので、徐々に関係を深めます。

(主人公が教室に入り向き合う)

【位置：中 距離：中】

……あ、先輩。

授業、終わったんですか？

お疲れ様です。

私はそうですね、この時間のは取っていないので。

先輩のこと待ってました、ここで。

(机や椅子がきれいになったことを指でなぞるように)

いいですよ、ほら、教室。見てください。

ホコリとかが散らかったので、片付けてたんです。

これから暫くはお世話になるでしょうしね。

いえ、別に几帳面というほどでもないですよね、それが。

私の部屋、見るも無残なことになってますし……。

でも、時間を持て余してたおかげで、心も少しだけ落ち着きました。

やっぱりお掃除っていいですね。

じゃ、先輩。こっち来てください。

どうぞ、この椅子も。

私も、お隣失礼しますね。

SE:椅子に座る

(隣同士の席に座る)

【位置：右 距離：近】

ふう……。

それで先輩、今日来てもらった理由、わかりますよね？

……はい、またえっちなこと協力してもらえたらと思ひまして。

ええ、ちよつとまあ。

えっちこそしましたけど、でも他のことは一切しなかったなあと。

やっぱり、クラスメイトとの会話の中でも、まだ経験不足なところがありました。

「どんな流れなの？」とか、「大ききは？形は？」とか、まあほかにもいろいろ……。

なので今日は、先輩のそれをじっくり観察できればと。

……はは、大丈夫ですよ、ちゃんと抜いてあげますから。

そんな露骨に落ち込んだ顔しないでください。

しっかり考えました。

おちんぽを気持ちよくできて、おちんぽの形とかを理解する方法……。

(無知であることを自覚しながらも)

ええ、それはずばり、手、です。

手であれば、おちんぽの熱さとか、太さ、とか？

直接わかりやすいですから。

(急いでしたったのを自虐的に笑うような含み)

まあ一番王道のものらしいですけど。

ま、そういうことなので、しましょうか。

本日は私の手で、先輩のそれ、気持ちよくしてあげます。

【位置：やや右 距離：近】

……じゃ、脱がせますので、腰上げてもらえますか？

はい、私は準備することは特にありませんし。
ん、ほら、お願いします。

(ズボンを下ろし自然と顔が近づく、吐息交じり)

【位置：やや右 距離：密着】

んっ……。

これ、今日はまだ静かなんですね。

んっ……。

前はズボン越しでもわかるくらいだったのに。

んっ、んっ……。

んっ、ふう……。

【位置：やや右 距離：近い】

出ました、おちんぽ。

やっぱり、しなびてしまってます。

あまり期待してないんですか？私の手。

……もう、贅沢な人ですね、後輩女子の手で気持ちよくしてもらえるのに。

王様気分ですか、先輩？

……ん、そうだ。

(からかい耳ふー、「ふー」は台詞ではなく呼吸音です)

【位置：右 距離：密着】

※このブロックは扇情的なトーンでゆっくりめをお願いします

(少し長めの耳ふー)

ふー……っ。

んふ、身体、ぴくぴくしてます。

あったかいですか？私の息……。

ふーっ、ふー。

先輩のその態度、なんか癪に障ったので。
仕返しです。

ふーっ。

今から柔らかくてすべすべな女の子の肌で、
それ……。

気持ちよくしてあげるんですから。
おつきくしてください……。

ふーっ。

反応してきました。

おちんぼ、少しずつまっすぐに……。
もうちよつとですよ、ほら、頑張ってください。

ふーっ、ふーっ。

すごい、どんどん上がってきてます。
ぴくぴくっ、ぴくぴくって、

天井に向かってそそりたって……。

ふーっ。

先っぽも、皮が捲れてきて……。

あ、ピンクのが出てきましたね……。

ふーっ。

先輩？

これ、完全に勃起しちゃってますね。
気持ちよかったですか？

私のあったかい息。

(最後は再び長めで)

ふーっ。

※ ここまで

(耳元から離れる)

【位置：右 距離：近】

そうですか、ならよかったです。

おかげで勃起する様子も間近で見れました。

(甘いからかい)

情けなくはあはあ漏らしてる先輩、可愛いですよ。

そんなに必死にアピールしてきて。

触ってほしいんですか？

……ふう、仕方ないですね。

冗談です、協力ありがとうございます、先輩。

ちゃんと優しくしますから。

……ん。それじゃ、触りますね。

【位置：右 距離：密着】

※ ここから先は手コキしながら呼吸混じり、ゆっくりなテンポ

(手探りな感じ)

……んっ、失礼します……。

えっと……。んっ、んっ……。

んっ……。

軽く触れただけなのに、すごい勢いで反応してます……。

つめたいですか？私の手。

先輩のすごく熱いでもんね……。

このまま、握ってみます。

私の手で気持ちよくしてもらえるのが楽しみで、
血液いっぱいあったかおちんぽ。

んっ、んっ……。

どうでしょうか、手の中……。

やわらかくて、すべすべで、弾力いっぱいの女の子の手……。
気持ちいいですか？

んっ……。

はは、先輩、わかりやすすぎます。
握っただけで、目もつむっちゃって……。

はあはあ、はやく動かしてほしいよって顔してます。

んふ、でもよかったです。

こんなの、初めて握りますし……。

えと、じゃあお望み通り動かしますね。

SD:手コキ音開始(ゆっくりめ)

んっ、んっ……。

んっ……。

こう、ですかね？

痛くはないですか？

まずはゆっくり動かしていますが……。

……ん、了解です。

じゃ、続けますね。

んっ……んっ……。

気持ちよさそうですね。

自分の手じゃない私の肌……。

いつも夜な夜な一人でしてるときとはまた違った快感……。

普段はえっちな本とか動画とかで、してるんですよ？

んっ……。

んふ、今更強がっちゃって。

そんなに恥ずかしいですか？

情けないことしてるの、自分より年下の女の子に知られるの。

んっ……。

そうですか、でも……

私の手の中でこれ、すごく反応してますけど。

今じゃなくて、握った時から、むくむく、むくむくって。

先輩が感じてること、手に取るようにわかりますよ。

(若干息つよめで、手に力を入れている感じを出してもらえると)

んっ、んっ……。

おちんぽの形も……。

んふ、こっ指の先……

わっかみたいにくっつけると……

んっ……。

付け根が太くて……少しだけ細くなったと思ったら、壁みたいなのがあって……。

それで、そこからはピンクの鬼頭が……。

んっ……。

血管も浮き出て、おちんぽが大事なものっていうのも分かります……。
繊細で大事なところ、後輩のペースでしごかれちゃってますね。

(今度は息軽めでゆっくり撫でる)

んっ……。

それから、今度はこうやって……。

ん、全部の指、優しく握りしめるようにすると……。

ん、んっ……。

先輩の熱、強く感じます……。

んふう……私が上下にすると、この中で精液が脈打っていたり……。

敏感なところにあたると、もっとあつたかくなったり……。

気持ちいいですか？

し(こ)し(こ)……。し(こ)し(こ)……。

んふっ、あつたかいです。

なんか楽しいですねこれ。

先輩が私の支配下にあるみたいです……。

自分の身体じゃないのに、何をしたらどうなるかってのが分かって。

ん……。

それに、こうやって触れると……

口からも、あつたかい息いっぱい出てきて。

可愛いですよ、先輩。

はは、すみません。

ちよつとからかいすぎましたね。

じゃあ、もっとこうしたら気持ちいいとがありますっ？

なんでもいいですよ。

ん……。

形とかはよく分かったので、今度は先輩を気持ちよくする番というか。
一応気持ちよく射精しとかないと、話に粗がでる可能性もありますしね。
……といっても、この体勢なので、できることは限られてますけど……。

んっ……。

どうですか？

なにか思いつきました？

(少し嫌そうにしつつも「まあそういうもんですか」と割り切ってる感じ)

ええ、耳舐めですか……？

たしかにそれならこのまま出来ますけど……。

なんか、クラスメイトに引かれそうな気が……。

でもしょうがないですね。

付き合ってもらってるお礼ですしね。

私も先輩のこと、もっと虐めてみたいので。

(主人公の顔を見ながら、手の中で反応するおちんばに呆れるように)

……あ、またぴくぴく震えて……。

ふう、じゃあ、また動かしますね。

今度はさっきより早く……。

それから、先輩が大好きな耳舐めも追加して……。

※**ここからの耳舐めはソフトなタッチでお願いします、最中もやや吐息強めで**

んっ……。

あーん……。

んちゅ……んちゅ、んちゅ……ちゅう、ちゅう、ちゅう、んれろ、んれろ、んれろ、んれろ、んれろ、んれろ、ちゅうう……。

はあ……。

んっ……。

えっと、こんな感じでいいですかね……？

んふ、そうですか……。

こんな舌の動き、まだちょっと慣れないですけど……。

また、続けてみます……。

こちらの方も……

んっ、シコ、シコ、シコシコ。

ふう……。

あーん……。

んちゅ、んちゅ、んちゅうっ、んちゅ、ちゅう、えろ、えろ、れろ、んれろ、んれろ、れろ、ちゅう……。
はぁ……。

※※※ここから台詞は有声音囁きでお願いします

SE:シコシコ音やや早める

……先輩。

私の手の中、すごくピクピクしてます。

目を瞑って、この感触だけを頼りにしてるので、

少し反応しただけでもよく伝わりますよ……。

んっ……。

根本の方、じゅくじゅく言っていたり、

ここも、血液がうごめいていたりするの……。

んっ……。

んちゅっ、ちゅう、えろ、えろ……。

おちんぼシコシコされながら耳の奥舐められるの、

そんなに気持ちいいですか……？

あーん……。

んちゅ、んちゅ、んちゅ、んちゅ、ちゅう、ちゅっ、ちゅう、ちゅう、れろ、んれろ、んれろ、れろ、れろ、れろ、ちゅう……。

はぁ…。

んふ、そうですか、ありがとうございます。

んっ……。

鍵もかけてない教室で、おっぱい歪んじやうくらの密着耳舐め……。

気持ちよすぎてはぁはぁあえいでる先輩と、

耳に垂らした涎を吸い上げたり……

んっ、ちゅっ、えろ、んえろ、えろ……。

かきまぜたりする私達の音……。

んちゅうっ、ちゅっ……。

きつと、教室の外にまで漏れちゃってますね……？

んちゅう、んちゅ、ちゅっ、んちゅ、ちゅう、ちゅっ、ちゅう、えろ、えろ、んれろ、んれろ、んれろ、れろ、れろ、れろ、ちゅう……。

はぁ…。

んっ……

それに、私の手の中からも、さっきから別の音が……。

これ、そろそろでそうつてことですよね？

いけない人ですね。

聞こえてるかもしれないのに。

えっちなおつゆの音まで付け足して……。

んっ、ちゅっ、ちゅうっ……はぁ……。

良かったですね。

おまんこの次は、ずっと夢見てた耳舐めまで出来て。
自分はなにもしないで、ただ女の子の柔らかい手で気持ちよくしてもらえる……。
夢みたいに贅沢な時間。

いいですよ、そのまま、出したくなったら出して。
私の中で、包まれたまま。

教室にむかってぴゅーっ、ぴゅーっって……。

あーん……

んちゅ、んちゅ、んちゅ、んちゅ、ちゅう、ちゅっ、ちゅう、ちゅう、れろ、んれろ、んれろ、れろ、れろ、ちゅう……

はぁ…

あ、出ますか……？

おちんぼの脈打ち、すごいです……。

んっ、んっ……。

……ん、了解です。

じゃ、最後は耳舐めを激しくて……

んっ、頭もおちんぼも、とろけるような快感のまま、出してしまってください……。



(最後はやや激しめで)

あーん……

んちゅ、んちゅ、んちゅ、んちゅ、ちゅう、ちゅっ、ちゅう、ちゅっ、ちゅう、ちゅう、れろ、んれろ、んれろ、れろ、れろ、ちゅう、ちゅう、ちゅう、ちゅう……。

はい、お願いします……。

んちゅ……んちゅ、ちゅう、ちゅう……。

んんんっ、んっ、んっ……

んちゅ……ちゅう、ちゅう……れろ、んれろ、んれろ……。

はあ……

※※※

SE:手コキのスピードを緩める

(おちんぼを握ったまま精液が出てることを横目で見る)

はは、先輩。

出してしまってます。

輪っかにした指の間から、ぴゅーぴゅーって、

教室の床に向かって……。

あ、まだ……。

なんかこれ、不思議な光景ですね。

小さい頃、お風呂の中で水鉄砲をしたのを思い出すような……。

手の中でためた水を、ぷしゅっぷしゅって。

そんな感じで、精液が出てます。

SE:手コキを完全終了

(密着状態から離れる)

【位置:右 位置:近】

ふう……。

……あ、やっとお射精止まりました。

床、べとべとになってしまいましたね。

空き教室とはいえ、きっと数年前までここでも青春とか、恋愛とか……。

たくさんの思い出とか、詰まってると思いますけど。
先輩はそんな場所に、精液を巻き散らかして……。

ええ、まあ。私からしてることはありませんけど。
でも、それにしてもこんな量……。

これ、前は私の中に出されたんですね。
すべて受け止めるみたいに、つつみこんだおまんこの中で……。

(エッチの雰囲気から離れ通常のトーンで)

ふう……。

気持ちよかったですか？

空になるまで精液びゅっびゅっとするの。

おちんぼも頭の中も、同時に責められてする無責任射精。

そうですか、ならよかったです。

【位置：やや右 距離：近】

……あ、そうだ。

今日もせっかくだし、写真だけ撮ってもいいですか？

こんなに出して気持ちよくなれたんですから、いやとは言わないですね。

じゃ、こっち向いてください？

その口をあけてほうけてるような顔、スマホに向けてください。

んふ、変な顔。

(棒読みでカメラマン気取り)

あー、先輩、きもちよかったですかー？

はは、素直な先輩、おもしろいです。

あ、動画にすればよかったかな。
ん、まあいつか。

【位置：中 距離：近】

（締めなので最後は温かみのある感じで）

それじゃ、また、この床の掃除もしないですね。

先輩がいっぱい出した精液。

放置しているとカピカピになってしまおうでしょうし。

また、手伝ってくださいね、先輩。